

菟書

芥川龍之介

青空文庫

元來僕は何ごとにも執しふぢやく着かよの乏しい性質である。就なかんづくし中ちゆう蒐しゆう

集しゆふと云ふことには小学校に通かよつてゐた頃、昆虫の標へうほん本ほんを集め

た以外いまだかつてに未いまだかつて嘗かた熱中したことはない。従つてマツチの商標しょうひょうは勿も

論ちろん、油壺ちゆうぶでも、看板かんばんでも、乃至なにしここん古今の名家の書画しよゑでも必死ひつしに集

めてゐる諸君子しよくんしには敬意けいぎに近いものを感じてゐる。時には多少の

嫌悪けんあくを交まじへた驚きやう嘆たんに近いものを感じてゐる。

書籍しよせきも亦また例外れいげではない。僕も亦商売しやうらいがら多少の書籍しよせきをも蔵くらして

ゐる。が、それも集めたのではない。寧ろむしおのづから集まつたの

である。もし集めた書籍しよせきであるとすれば、其処そこに何か全体ぜんたいに通とほず

る脈絡みやくらくを具そなへてゐなければならぬ。しかし僕の架かじやう上じやうの書籍しよせき

は集まつた書籍である証拠しやうこに、頗すこぶる粦然じうぜん紛然ふんぜんとしてゐる。

脈絡みやくらくなどと云ふものは薬にしたくもない。

では全然無茶苦茶かと云ふと、必かならずしも亦またさうではない。少くと

も僕の架かじやう上の書籍は僕の好みを示してゐる。或はいろいろの時

期おに於ける好みの変遷を示してゐる。その点では——僕と云ふも

のを示してゐる点では僕の作品と選ぶ所はない。僕は以前架上の

書籍を買ひ入れた年ねんげつ月の順しるに記し、その書籍の持ち主の一生の

変化を暗示あんじする小品を書いて見ようかと思つた。が、西洋人の書

いたものに余り似寄によりの話を見た為、とうとうそれなりになつて

しまつた。それなりになつてしまつたのは勿論天下の為に幸福で

ある。しかし架上の書籍なるものの鏡のやうに持ち主を映うつすこと

は兎とに角かく何か懐しい、さもなければ何か気味の悪い事実であると
 云はなければならぬ。(この故に売り立てに「さしもの」をする
 のは他人の作品に筆を入れるのと同じ位道徳的に不都合ふつがふである。)
 蒐集家しゅうしゅうかのみの知る喜びや悲しみはかう云ふ僕には恵まれてゐ
 ない。何しろ本屋をひやかしてゐたり、或はカタロオグを讀んで
 ゐたりする内に目にとまつたものを買ふのであるから、感激すこぶも頗
 る薄うすい訣わけである。大金たいきんは勿論出したことはない。
 是これでも本道樂だうらくの話になるかどうか、其辺そのへんは僕にも疑問であ
 る。

(大正十三年七月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

菟書

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>